

平成 30 年度 第 4 回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成 31 年 2 月 20 日（水）18:30～20:00
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 9 名…岩堀、石塚、川島、佐久間、多賀名、妻沼、藤野、三澤、吉田
欠席者 1 名…小澤
事務局 2 名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者 2 名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者 0 名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
2 のたろんフェア 2019 報告
3 YMCA コミュニティサポート 2019 年度事業方針計画（案）
4 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体
5 平成 31 年度運営懇話会日程（案）
（参考）市民協働推進補助金・市民協働モデル事業公開プレゼンテーション案内

1 報告事項

1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料 1 に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・ 1 月は利用者が減少したが、年度を通しては前年度を上回る見込み。団体数は多少下回る見込み。団体数については減少しているが、一般の来場者を増やすために活動紹介コーナーの増設や行ったことが利用者数の増につながったが、団体数には影響がなかったと思われる。
- ・ 団体については既に活動拠点が固定している等理由があると思うが、そういった団体の掘り起しをどうするかが課題である。
- ・ 印刷機については、ネット印刷への移行が避けられないといった状況である。
- ・ 活動紹介コーナーについては、大きく予定が空くことなく埋まっている状況。今年度からセンターエリアとフロントエリアに分け当初はセンターエリアでの掲示後フロントエリアへの掲示に移行を案内していたが、今後 2 つのエリアはそれぞれ独立した運用とした。
- ・ 印刷機については経年劣化があるものの、部品交換により現在は稼働できている状況である。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・ 利用者数は昨年度比で減。印刷機については、ネット印刷が普及しつつあることによる減傾向であり、コピー機は昨年 5 月から利用票の記入条件の見直しと設置場所が複数あることによる利用の分散と推測される。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・ 近隣自治体で考えると鎌倉だけではなく、逗子等にも情報誌があるのでは。

→逗子の施設関係の情報誌等はすでに配架している。先方の在庫の兼ね合いもあるが依頼できるものについては対応したい。なお、来館者から「横須賀市民割」の資料に関する問い合わせがあったが、サポセン及び周辺施設に配架がなかったという事があった。こちらで全てを網羅することは難しいので情報があれば提供いただければ、できる範囲で資料の収集に努めたい。(指定管理者)

- ・ 汐入については、A4のコピーについては近くに5円でコピーができる施設があるので、そこにながれているのでは。

→状況としては認識しており、かつて検討した経緯はあるが、費用面等を勘案し現状維持となっている。(指定管理者)

- ・ コピー機の利用における利用票の記入方法を見直したのはどのサポートセンターか。

→久里浜と追浜のサポートセンターである(市民生活課)

- ・ 汐入のサポートセンターのコピー機の利用についてはどうか。

→コピー機のみ利用については他のサポートセンターと同様である。(指定管理者)

1-(2)のたろんフェア2019報告

指定管理者から資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・ 初めて100団体を超える参加があった。
- ・ 初日は雪交じりの天候で寒かったこともあり来場者は昨年比で減となったが、2日間とも館内は賑わっており多数の来場があった。
- ・ 今年度はミニ展示を窓ガラスを利用して外向けに展示したほか、会場装飾として児童の作品を提供いただいているが、そちらについても展示方法も見直しを行った結果多くの来場者の目に触れやすくなった。
- ・ 参加団体の意識にも変化が見られ、設営、運営、撤収に多くの団体が参加するようになり、みんなでつくり上げるのたろんフェアという意識が浸透してきているように感じられた。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ フェア当日に関わりのあった方が、後日、自分たちの活動に参加してくれてとてもうれしかった。
 - ・ キャラクターの着ぐるみがいることで会場の賑わいに役立っていてよかった。
- 着ぐるみについては学生のボランティアによるサポート体制が整っていて、非常に助かっている。(指定管理者)
- ・ 来場者動員企画の集客力はすごかった。
 - ・ 館内で実施されていた署名活動について、団体の活動に関わりがあるのかわかりづらいものが見受けられたが、内容については確認しているのか。
- 署名活動については事前に申請してもらい、内容を確認したうえで許可を出すこととしているが、次回以降申請内容と団体の活動内容の関係性についても確認するよう検討したい。(指定管理者)
- ・ 写真コンクールについて、一人が投票用紙を多く投票箱に持参していたこと等組織票が多くあるように見受けられた。
- 一人の方が複数の投票用紙に記入するのはルール違反である。ただ、他の人が記載した投票用紙をまとめて投票箱に持参した可能性も否定はできないが、次回以降は対応を検討したい。(指定管理者)

- ・参加団体説明会の時に写真コンクール組織票について問題ない旨の説明が事務局からなされていたが、参加団体を対象としている説明会であってそのような説明をする必要はないのでは。
- 事務局としては、説明会の場を和ませる意図での発言であり他意はなかったが、いただいた意見を踏まえ対応を検討したい。（指定管理者）
- ・今回はショッパーズプラザが改装のためステージが使用できない状況のなか、フェアは20回目の記念となることから、開催方法及び内容について検討していく必要がある。（指定管理者）
- ・今回「産業交流プラザまつり」と連携していたが状況は。
- サポートセンターの登録団体から3団体（マジック、演奏、箏）に出演してもらった。例としてマジックについては、サポートセンターのミニ体験コーナーで発表した後、産業交流プラザでそのマジックを教えるといった流れを作る等、連携は図れていたと考える。（指定管理者）
- ・次回以降の連携は。
- 次年度から、産業交流プラザの指定管理者が変わるため、具体的には4月以降に新しい運営法人と調整する必要がある。なお、こちらとしては次回ステージが使えなくなることや会場の容量の問題もあるので、次回以降も連携が取れればと考えている。（指定管理者）
- ・ショッパーズのステージを使って行っていたイベントは代替として総合福祉会館のホールを使うことで対応できるのではないかと。ベイサイドポケットという候補もある。
- ご意見として頂戴し、参考としたい。（指定管理者）

1－（3）平成31年度事業計画について

指定管理者から資料3に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・施設管理業務については、にぎわい大作戦の第3期として、印刷方法のシフト等による団体利用が減少している状況を踏まえ、利用の仕方も考える必要がある。
- ・情報収集提供業務として主なものはWebサイトの刷新とNPO法人活動紹介レポート集の発行を考えている。
- ・相談業務としては市の高齢福祉課から委託を受けている支え合い組織の拡大事業について相談業務として確立させていく。
- ・連絡調整業務としては、今年度から企業・大学・NPOパートナーシップミーティングを横須賀商工会議所や横須賀市産業振興財団等の経済系中間支援組織も含めた実行委員会形式で実施できたことから、その連携をさらに強めたいと考えている。
- ・市民公益活動促進事業の実施としては、大学生ボランティアの育成、認知症カフェとの連携、夏休み期間の小学生向けイベント、のたろんカレッジとしてNPO法人の組織強化のための学習会等イベントの実施、SDGsの周知、子育て支援のネットワークの推進等を予定している。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・資料内の用語の意味はなにか。（ソーシャルインパクトボンド、CSR、CSV）
- ソーシャルインパクトボンド（SIB）とは民間資金を活用した官民連携による社会課題解決の仕組みのことで、通常の委託は成果の有無に関わらず活動経費を基に対価を支払うが、SIBではサービスの成果を評価することにより、成果に応じて対価を支払うことに特徴がある。CSRは企業の社会的責任の略で、CSVとは共通価値の創造の略のこと、CSRは企業の本業以外の活動も当てはまる

ことに対して、CSVは企業の本業を通じて社会価値と企業価値を両立させようとする考え方のことである。(指定管理者)

- ・ジャカランダとはどういう意味か。

→植物の名前から取っている。歯科大に植えられており、数年前から年に1度その花の咲く時期に歯科大を開放しイベントを実施している。このイベントに団体を派遣したことをきっかけに連携が図れたことで、今年度ののたろんフェアの際、机や椅子等の物品を借用することができ、助かったということもあった。(指定管理者)

- ・来年度は懇話会の構成員が改選となるため、事業計画については、今年度の事業報告と併せて来年度の懇話会でも取り上げる事となる。(座長)

2 議題

2- (1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・会員数の記載のない団体が1団体あるが。

→確認が取れていないため、確認しておく。(指定管理者)

3 その他

3- (1) 平成31年度運営懇話会開催日時について

市民生活課から資料5に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・構成員が改選で変わるため、8月以降の日程は、5月の懇話会で再度調整したい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし。

3- (2) 市民協働推進補助金・市民協働モデル事業応募状況等について

市民生活課から参考資料について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・観覧にあたっては、事前申込等は必要なのか。

→事前申し込み等は不要で、資料記載のスケジュールを参考に興味のある団体のプレゼンテーションを聞いていただければと思っている。なお、タイムテーブルについては予定であるため、進行状況により多少前後する可能性がある。

連絡事項

(市民生活課)

- ・平成31年2月17日に市制施行記念式典にて市民表彰があった。市民公益活動に貢献された団体として、運営懇話会でご意見をいただいた候補から指定管理者に2団体を推薦いただき、「横須賀三曲会」「NPO法人ワーカーズ・コレクティブ キッズポケット」が表彰された。

以上